

議会報告会 実施報告書

1	日時	令和7年5月25日(日) ① 開場時刻 12時 ② 開会時刻 13時30分～ ③ 第1部(全体説明) 13時30分～14時 ④ 第2部(各常任委員会への質疑応答) 14時10分頃～15時15分		
2	場所	アミューズメント佐渡 2階 展示室(全体説明会並びに市民厚生常任委員会) 3階 文弥人形室A(総務文教常任委員会) 文化情報センター(産業建設常任委員会) 文弥人形室B(控室)		
3	テーマ	令和7年度当初予算		
4	当日の進行等	① 当日の式次第は別紙のとおり ② 受付は2階と3階に配置し、式次第・アンケート用紙・注意事項を配布(別紙) ③ 説明は議会だより第84号による。展示室で各常任委員長が10分程度の説明を実施した後、休憩を挟んで、常任委員会ごとに各部屋に分かれ質疑応答。(参加者は移動自由。) ④ 各部屋は、委員会が参加者と相対するレイアウト ⑤ 各委員会の模様は担当委員がタブレットで録画、担当書記が録音		
5	参加者数	29人		
6	主な質疑応答	別紙のとおり		
7	当日のアンケート結果	別紙のとおり		
8	班編成・役割	役割	班長等	班員
		総括	金田、山田	-
		司会	山田	-
		設営班	林	村川 川原 坂下真 佐々木 中川健 荒井 坂下善 山本卓 佐藤孝 近藤
		受付班	中川直	山本健 佐藤定 駒形
		記録班	平田	栗山 広瀬 室岡

令和7年5月25日13時30分開始

アミューズメント佐渡

佐渡市議会 議会報告会 式次第

一、開会あいさつ 金田議長

一、各常任委員会による審査報告

(移動・準備)

一、分科会による質問会

- ・総務文教常任委員会→文弥人形室 A
- ・市民厚生常任委員会→展示室
- ・産業建設常任委員会→文化情報センター（研修室）

(終了予定時刻 15時15分)

※各常任委員会の所管課

- ・**総務文教常任委員会**：議会事務局 総務課 防災課 総合政策課
財政課 財産管理課 会計課 消防本部 教育総務課 学校教育課
社会教育課 選挙管理委員会事務局 監査委員事務局
- ・**市民厚生常任委員会**：市民課 健康医療対策課 生活環境課
税務課 社会福祉課 子ども若者課 高齢福祉課 両津病院及び
相川診療所
- ・**産業建設常任委員会**：地域産業振興課 移住交流推進課
農業政策課 農林水産振興課 観光振興課 世界遺産課
交通政策課 建設課 建築住宅課 上下水道課 農業委員会事務局

議会報告会・市民意見交換会アンケート

次回の議会報告会の参考にさせていただきますので、アンケートへのご協力をお願いいたします。

※☑を入れてください

(お住まい _____ 地区 _____ 年代 _____ 代)

1. 議会報告会をどこで知りましたか (複数回答可)

- 議会ホームページ 議会 Facebook 議会だより
 ケーブルテレビの文字放送 議員から
 その他 (_____)

二次元コードからも回答
 できます
 (お一人1
 回でお願い
 します)



2. 第1部の議会報告会「2月定例会の内容」について

- よかった あまりよくなかった だめだった

【ご意見をご自由にお書きください】

(_____)

3. 第2部の各常任委員会の報告について

(総務文教・市民厚生・産業建設常任委員会) 該当する委員会に○をつけてください。

- よかった あまりよくなかった だめだった

【ご意見をご自由にお書きください】

(_____)

4. 今後の議会報告会では、テーマも決め意見交換会も行いたいと考えていますが、どのようなテーマを取り上げてほしいかご回答ください。

(複数回答可)

- 人口減少問題 子育て 医療 高齢者問題 産業振興 交通
 農林水産業 移住定住 教育・学校 防災対策
 その他 (_____)

5. 議会報告会についての意見をご自由にお書きください。

(会場、時間、運営方針などなんでも結構です)

(_____)

ご協力、ありがとうございました。
 自由記載は裏面もご利用ください。

2025 佐渡市議会 5.25 議会報告会

以下の点に十分ご了承ください m(_ _)m。

- ①この議会報告会の内容は録画しており、参加できなかった市民にも見てもらえるように後日、YouTube でインターネット動画配信を行います。録画にあたっては個人が特定されにくいように後ろ姿で映します。
- ②発言にあたっては、個人情報や不穏当発言に関わる部分については、議会判断で削除する場合があります。
- ③発言にあたっては、個人情報等に十分注意してください。
- ④参考資料として「議会だより」を配布しておりますが、議員個人の一般質問への質問や疑問については、お答えできませんのでご了承ください。
- ⑤市民発言が長くなる場合は、時間の関係もあり場合によれば、制限がかかる場合があります。
- ⑥アンケートについては、今後の参考にさせて頂くもので個人情報は、それ以外には使用しません。

総務文教常任委員会に対する主な質疑応答

質疑・意見	回答
<p>【財政調整基金の減少について】 財政調整基金が 2016 年度末の 95 億円から 2024 年度末には 24 億円へと大幅に減少している内容について教えていただきたい。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・減少の要因は、2017 年の豪雨災害、コロナ対応、大雪などの自然災害による緊急支出が中心である。 ・激甚災害指定されなければ市が独自で負担せざるを得ないため、取り崩しが続いた。 ・市長の方針としては、「プライマリーバランスゼロ」できる限り基金に依存しない財政運営を目指すとのこと。
<p>【ふるさと納税の積立への活用可能性について】 ふるさと納税の大半が用途指定型であり、財政調整基金への繰入れに使える余地はほとんどない。指定なしは 400 万円ほどである。これでは 11 億円の積立では現実的ではないのではないか。</p>	<p>ふるさと納税で特定事業の支出をまかなえば、一般財源を浮かせることができ、その分を基金に積立てられる可能性もある。</p>
<p>【人口減少について】 今後基金の積立では必須だと思う。また、人口減少は市税や交付税に直結し、将来的な市財政の脆弱化に直結する危機感を訴える。</p>	<p>地方交付税は人口だけで決まるわけではない。過去と比較しても人口は減っているが交付税の減少はそれほどでもない。</p>
<p>【職員給与・寒冷地手当・賞与について】 寒冷地手当の 11%増など、人事院勧告をそのまま反映させていることに対し、現在の佐渡市の財政状況で本当に妥当な</p>	<p>佐渡市職員の給与などは、新潟県人事委員会勧告に基づいて決定されており、今回の寒冷地手当の支給対象地域の改定により、佐渡市も新たに対象となったため、条例改正を行っ</p>

<p>のかと懸念している。賞与も、民間の実態とかけ離れているのではないか。</p>	<p>た。これまでの給与改定もすべて同様に勧告に従って対応してきたので、今回も特に問題はないと判断した。</p>
<p>【佐渡市議会議員の報酬について】 佐渡市の財政は潤沢ではないというような話もありましたけども、県内20市の中で最も低いという報酬ですが、これは本当ですか。もし本当でしたら、佐渡の次に低いところを教えてください。</p>	<p>県内20市の中で佐渡市が1番低い26万8,200円である。その次は村上市が27万3,000円、あと胎内市が27万5,000円というような状況になっている。</p>

(作成:平田和太龍)

市民厚生常任委員会に対する主な質疑応答

質疑・意見	回答
<p>6月以降ゴミ処理券を導入したいとのことだが、市民は納得していない。今後どうするのか。市民の暮らしが一番大切なことを忘れていないのか。</p>	<p>執行部の説明によると、業者とまだ詰め切れていない。スタートの時期はまだ報告がない。プライマリーバランスゼロで経費削減が目的であるように聞いている。</p>
<p>陳情が不採択になったが不採択の理由が明記されていない。不採択の説明責任があるのではないのか</p>	<p>その陳情は全国的に出されているもので、各種取組状況についての開示を求めるものだが、開示方法や開示による弊害も想定されたので、不採択となった。</p>
<p>すこやか両津の老健佐渡への移転に関する金井地区説明会に議員は誰も参加していなかった。すこやか両津の工事ができなかったのは三分割したことが良くなかったのではないのか。議会は指摘すべきだった。急遽契約解除してきたのであれば、違約金を取るべきではなかったか？ すこやか両津の2億4千万円の赤字は経営改善を要求すべきではないか。</p>	<p>違約金の議論は残念ながらしていない。 医療介護の分野で民間手法を取り入れることは公的な施設では難しいところがある。この施設の人件費が特別高いわけではなく、医療・介護の一定の赤字は仕方ないことと捉えている。民間ができない部分を担っていくこともあり、容認せざるをえない委員会の雰囲気だった。</p>
<p>看護学校を閉校することで更なる看護師不足を招くことになる。看護学校閉校について委員会ではどのような議論をしてきたか説明してもらいたい。</p>	<p>看護学校閉校の説明は委員会では無かったが、全体への説明の中では、生徒が少なく受入れ維持ができないとのことであり、それ以上の委員会審議はなかった。</p>

<p>公設の保育園の遊具は古いが私立は立派な遊具があることについて、佐渡市は把握しているか？</p>	<p>保育園の遊具の状況は把握していない。</p>
<p>老健佐渡の再利用の陳情を出したが不採択になった。しかし、現在はすこやか両津が移転して使っている。それなら、なぜ不採択にしたのか？</p> <p>また年金の請願を出したがこれも不採択になった。不採択の理由を説明してもらいたい。また請願内容の説明の機会を設けてもらいたい。</p>	<p>委員各自から陳情について賛成・反対の意見が出され、最終的に賛否を問うた結果、不採択になった。</p> <p>高齢者も現在は少なくなって高齢者施設を現在のまま維持して行くのは今後困難となってくる。これからは総合的に佐渡の医療・福祉についての施設を総合的に勘案して今後に生かして行きたいと考えている。</p>

(作成: 中川健二)

産業建設常任委員会に対する主な質疑応答

質疑・意見	回答
第4次佐渡市地産地消推進計画のどのような方向性で、委員会としてどのような提案をしているのか。	現行の第3次計画よりも地産地消を強化したいとの説明があり、令和7年度から令和11年度の5か年計画で、学校給食における佐渡産使用率を30%に引き上げる等を目標としている。佐渡市民が食料に困らないよう一層強化するよう意見を付けている。
Uターンやイベント開催への支援に委員会としてどのような提案をしているか。	帰省客がコロナ前の水準に戻っていない。Uターンの定着率はIターンより高いが、佐渡市は同窓会などに支援は行っておらず、全国の事例を参考に対策に取り組むよう意見を付けている。
観光について、交通問題、飲食提供事業者の不足、宿泊費高騰が、修学旅行の減少に繋がっていると懸念している。	交通面では、修学旅行へのバス提供や、ライドシェア事業の推進をしており、飲食提供については創業支援策を講じ緩和を図るなどの対策をしている。
道の駅に関して委員会として問題意識はないか。	利活用の課題解決に向け協議している。

(作成:坂下真斗)